

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成24年11月8日

【四半期会計期間】 第37期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

【会社名】 株式会社ショクブン

【英訳名】 SHOKUBUN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 川 瀬 公

【本店の所在の場所】 名古屋市守山区向台三丁目1807番地

【電話番号】 052(773)1011 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 田 野 光 夫

【最寄りの連絡場所】 名古屋市守山区向台三丁目1807番地

【電話番号】 052(773)1011 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 田 野 光 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第36期 第2四半期 連結累計期間	第37期 第2四半期 連結累計期間	第36期
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(千円)	5,148,541	4,619,117	10,523,649
経常利益又は経常損失()	(千円)	31,767	85,599	215,653
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失()	(千円)	5,563	68,942	94,718
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	49,817	81,622	147,102
純資産額	(千円)	3,076,093	3,429,460	3,553,088
総資産額	(千円)	10,607,485	10,491,914	10,511,621
1株当たり四半期(当期)純利益又は 1株当たり四半期純損失()	(円)	0.51	5.82	8.42
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	29.0	32.7	33.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	22,835	213,138	388,429
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	7,913	90,667	36,129
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	7,043	219,617	332,840
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,279,101	1,373,741	1,276,595

回次		第36期 第2四半期 連結会計期間	第37期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純損失()	(円)	0.65	4.34

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第36期第2四半期連結累計期間及び第36期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第37期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当社は、今年で創立35周年という記念の年を迎えました。「お客さまの健康を第一義に考え、安全で安心のできる美味しい食材をお届けする」という経営理念のもと、感謝の気持ちを忘れず、お客さまの健康と満足を実現できるよう努めております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の長期化、海外の景気減速の懸念等により、依然として不透明な状況が続いております。個人消費は、震災関連需要や自動車の需要刺激策の効果を背景に持ち直しの動きがみられたものの、将来の消費税増税などの消費者マインドを押し下げる要因もあり、企業の業績は不確実性を高めております。食品業界においても、デフレの影響を強く受け、企業間の低価格競争が激しさを増しています。

当第2四半期連結累計期間の売上高は46億19百万円（前年同四半期比89.7%）になりました。売上高の内訳は、メニュー商品が44億58百万円（前年同四半期比89.4%）、特売商品は1億60百万円（前年同四半期比100.7%）であります。

今後、当社は売上増加策として、メニュー企画面では、食卓の彩りと栄養バランスのよさを重点に、料理点数を増やしたメニューの製作や、ボリュームを増やし、お客さまに満足感をより高く味わっていただけるようにし、顧客増大に努めてまいります。また、営業面では、業務部の設置をするなど、営業組織の活性化を図ります。

一方、販売費及び一般管理費については、配達及び拡販方法の効率化に伴う経費改善効果もあり、前年同四半期に比べ1億26百万円改善しました。

以上により、利益については、85百万円の経常損失（前年同四半期は31百万円の経常利益）になり、四半期純損失は68百万円（前年同四半期は5百万円の四半期純利益）になりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、13億73百万円になりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果減少した資金は2億13百万円(前年同四半期は22百万円の増加)になりました。この主な内訳として、減価償却費1億円等がありましたが、税金等調整前四半期純損失85百万円、仕入債務の減少額1億3百万円、法人税等の支払額90百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果増加した資金は90百万円(前年同四半期は7百万円の減少)になりました。この主な内訳として、有形固定資産の取得による支出1億6百万円等がありましたが、定期預金の払戻による収入2億円等により資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果増加した資金は2億19百万円(前年同四半期は7百万円の増加)になりました。この主な内訳として、長期借入金の返済による支出6億84百万円等がありましたが、長期借入れによる収入9億円等により資金が増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、15百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,856,669	11,856,669	東京証券取引所 (市場第二部) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 1,000株であります。
計	11,856,669	11,856,669		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日		11,856,669		1,148,010		611,806

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
川瀬公	名古屋市千種区	2,313	19.51
株式会社バロー	岐阜県恵那市大井町180-1	1,848	15.58
ショクブン取引先持株会	名古屋市守山区向台三丁目1807	1,205	10.16
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町二丁目2-1	396	3.34
三菱UFJ信託銀行株式会社 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	東京都港区浜松町二丁目11-3	158	1.33
ショクブン社員持株会	名古屋市守山区向台三丁目1807	135	1.13
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7-1	131	1.11
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都中央区晴海一丁目8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟	117	0.99
竹新製菓株式会社	愛知県知多市岡田字太郎坊109-3	101	0.85
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目2-1	99	0.84
計		6,507	54.88

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,399,000	11,399	
単元未満株式	普通株式 455,669		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	11,856,669		
総株主の議決権		11,399	

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ショクブン	名古屋市守山区向台 三丁目1807番地	2,000		2,000	0.02
計		2,000		2,000	0.02

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
常勤監査役		平山寛	平成24年7月16日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,612,068	1,710,920
受取手形及び売掛金	15,485	14,190
原材料及び貯蔵品	106,461	131,546
繰延税金資産	54,240	92,806
その他	30,020	52,216
貸倒引当金	122	122
流動資産合計	1,818,154	2,001,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,490,522	1,444,000
土地	5,850,506	5,933,295
その他(純額)	233,686	209,994
有形固定資産合計	7,574,715	7,587,289
無形固定資産	44,621	44,688
投資その他の資産		
投資有価証券	356,224	333,904
繰延税金資産	20,396	30,216
その他	728,583	525,331
貸倒引当金	31,075	31,075
投資その他の資産合計	1,074,129	858,378
固定資産合計	8,693,466	8,490,356
資産合計	10,511,621	10,491,914
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,380	297,573
短期借入金	590,000	710,000
1年内返済予定の長期借入金	1,351,526	1,300,062
未払法人税等	92,961	25,858
賞与引当金	86,000	83,500
その他	539,386	521,858
流動負債合計	3,061,253	2,938,852
固定負債		
社債	167,000	146,000
長期借入金	3,575,052	3,842,116
退職給付引当金	13,913	23,176
資産除去債務	22,699	22,943
その他	118,614	89,365
固定負債合計	3,897,279	4,123,601
負債合計	6,958,532	7,062,453

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,488,147	1,488,147
利益剰余金	883,582	773,144
自己株式	502	1,011
株主資本合計	3,519,238	3,408,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,849	21,169
その他の包括利益累計額合計	33,849	21,169
純資産合計	3,553,088	3,429,460
負債純資産合計	10,511,621	10,491,914

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,148,541	4,619,117
売上原価	2,975,875	2,686,387
売上総利益	2,172,666	1,932,730
販売費及び一般管理費	2,095,757	1,968,972
営業利益又は営業損失()	76,909	36,242
営業外収益		
受取利息	4,951	4,187
受取配当金	3,133	3,516
受取手数料	5,327	1,633
受取賃貸料	2,894	2,782
その他	1,901	1,306
営業外収益合計	18,209	13,427
営業外費用		
支払利息	58,646	56,453
投資有価証券運用損	2,100	4,436
その他	2,603	1,895
営業外費用合計	63,351	62,784
経常利益又は経常損失()	31,767	85,599
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	31,767	85,599
法人税、住民税及び事業税	25,970	24,822
法人税等調整額	233	41,479
法人税等合計	26,204	16,657
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	5,563	68,942
四半期純利益又は四半期純損失()	5,563	68,942

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	5,563	68,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,254	12,680
その他の包括利益合計	44,254	12,680
四半期包括利益	49,817	81,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,817	81,622

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	31,767	85,599
減価償却費	109,067	100,814
のれん償却額	728	728
長期前払費用償却額	395	395
賞与引当金の増減額(は減少)	9,700	2,500
前払年金費用の増減額(は増加)	13,141	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,285	9,263
受取利息及び受取配当金	8,085	7,704
支払利息	58,646	56,453
投資有価証券運用損益(は益)	2,100	4,436
売上債権の増減額(は増加)	6,290	1,294
たな卸資産の増減額(は増加)	7,787	25,085
仕入債務の増減額(は減少)	53,566	103,806
前受金の増減額(は減少)	44,394	4,798
未払消費税等の増減額(は減少)	8,731	18,014
その他	744	9,560
小計	123,451	74,086
利息及び配当金の受取額	7,159	7,758
利息の支払額	58,417	56,760
法人税等の支払額	49,358	90,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,835	213,138
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,806	1,800
定期預金の払戻による収入	-	200,093
有形固定資産の取得による支出	8,815	106,297
無形固定資産の取得による支出	-	2,360
投資有価証券の取得による支出	6,001	6,002
投資有価証券の償還による収入	2,000	4,300
その他	6,709	2,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,913	90,667
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	13,000	120,000
長期借入れによる収入	880,000	900,000
長期借入金の返済による支出	652,968	684,400
社債の償還による支出	107,000	31,000
リース債務の返済による支出	41,672	42,883
自己株式の純増減額(は増加)	45,645	509
配当金の支払額	38,670	41,589
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,043	219,617
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	21,965	97,146
現金及び現金同等物の期首残高	1,257,135	1,276,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,279,101	1,373,741

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主要な費目別内訳は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
販売促進費	169,478千円	170,289千円
給料及び手当	1,028,079千円	957,338千円
賞与引当金繰入額	68,590千円	61,500千円
退職給付費用	37,971千円	32,656千円
福利厚生費	177,212千円	182,232千円
減価償却費	77,447千円	70,305千円
燃料水道光熱費	95,477千円	91,088千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,577,656千円	1,710,920千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	298,555千円	337,179千円
現金及び現金同等物	1,279,101千円	1,373,741千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	38,588	3.5	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	38,237	3.5	平成23年9月30日	平成23年11月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	41,495	3.5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	41,491	3.5	平成24年9月30日	平成24年11月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()	0円51銭	5円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失() (千円)	5,563	68,942
普通株主に帰属しない金額		
普通株式に係る四半期純利益又は 普通株式に係る四半期純損失() (千円)	5,563	68,942
普通株式の期中平均株式数(株)	10,996,391	11,855,293

(注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【その他】

平成24年10月31日開催の取締役会において、第37期の中間配当を次のとおり行うことを決議いたしました。

中間配当金の総額	41,491千円
1株当たりの中間配当金	3円50銭
支払請求権の効力発効日及び支払開始日	平成24年11月30日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主もしくは登録株式質権者に対して、支払を行います。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月5日

株式会社ショクブン
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渋谷英司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤隆行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ショクブンの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ショクブン及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。